歯　欠　山　《勢至堂》

勢至堂屋敷の北、戸渡林道の途中の西側にある半円形の山で、西側より見ると岩石が起立して、人の歯が欠けたように見えるのでその名がある。

岩石は石英が多量に含まれていて、庭石には最良と、見る人の目を楽しませてくれる。真向いに鬼面山の岩が見え、天狗が歯欠山と鬼面山を往復したといわれる。

岩の上に銚子に酒を入れて供えて置いて明日見ると、酒は無くなっているという。天狗様が飲んだといわれる。

なお、この岩下より鉱泉が湧出ていて、風呂に湧かすと神経痛、神経衰弱、動脈硬化症等に効能があるといわれている。

（話者　石井政司）

ハケゴ石にまつわる話　《長　沼》

城山の東端に大きな岩が立っている。下は麓まで切りたった断崖になっていて、下から望むとハケゴの形に似ているので昔からハケゴ石といい慣らされている。この石はハケゴの口に当る部分と身に当る部分との二つからなっている。上の石の手前に女の人の足がはいる位の凹みがあるので、人呼んでお姫様の足跡という。また石のふた(上部の石?)を取ると血の雨が降るという神秘めいた話が今日まで言い